

工事成績評定の考査項目別運用表(建築工事)

[記入方法] 該当する項目の□に レマークを記入する

[主任監督員]

考査項目	細別	a	b	c	d	e	
1 施工体制	① 施工体制一般	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である	
	建築工事	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェック表のうち、施工体制一般について指示事項が無い。 <input type="checkbox"/> 施工計画書を、工事着手前に提出している。 <input type="checkbox"/> 作業分担の範囲を施工体制台帳及び施工体系図(現場組織表)に明確に記載している。 <input type="checkbox"/> 出来形、品質等の確認を工事全般にわたって実施して、品質証明に係る体制が有効に機能している。 <input type="checkbox"/> 元請が下請の作業成果を検査している。 <input type="checkbox"/> 施工計画書の内容と現場施工方法が一致している。 <input type="checkbox"/> 緊急指示、災害、事故等が発生した場合の対応が速やかである。 <input type="checkbox"/> 現場に対する支援体制を整えている。 <input type="checkbox"/> 工場製作期間における技術者を適切に配置している。 <input type="checkbox"/> 建築、機械設備、電気設備等について、製作工場における社内検査体制(規格値の設定や確認方法等)を整えている。 <input type="checkbox"/> 建設業許可票、労災保険関係成立票、施工体系図、緊急連絡表等必要な掲示物を公衆に見えやすい場所に掲げ、施工計画書及び現場と一致している。 <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)				<input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 該当すれば……d <input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 該当すれば……e	
		該当項目が 90% 以上…………… a 該当項目が 80% 以上90% 未満…………… b 該当項目が 80% 未満…………… c	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値() = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。				
	② 配置技術者(現場代理人等)	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である	
	建築工事	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェック表のうち、配置技術者について指示事項が無い。 <input type="checkbox"/> 作業に必要な作業主任者及び専門技術者を選任及び配置している。 <input type="checkbox"/> 現場代理人が、工事全体の把握ができています。 <input type="checkbox"/> 設計図書と現場の相違があった場合は、監督員と協議するなどの必要な対応を行っている。 <input type="checkbox"/> 監督員への報告を適時及び的確に行っている。 <input type="checkbox"/> 書類を標準仕様書及び諸基準に基づき適切に作成し、整理している。 <input type="checkbox"/> 契約書、設計図書、適用すべき諸基準等を理解し、施工に反映している。 <input type="checkbox"/> 施工上の課題となる条件(作業環境、気象、地質等)への対応を図っている。 <input type="checkbox"/> 下請の施工体制及び施工状況を把握し、技術的な指導を行っている。 <input type="checkbox"/> 主任(監理)技術者が、明確な根拠に基づいて技術的な判断を行っている。 <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)				<input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 該当すれば……d <input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 該当すれば……e	
		該当項目が 90% 以上…………… a 該当項目が 80% 以上90% 未満…………… b 該当項目が 80% 未満…………… c	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値() = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。				

工事成績評定の考査項目別運用表(建築工事)

[記入方法] 該当する項目の□に レマークを記入する

[主任監督員]

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2 施工状況	① 施工管理	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
	建築工事	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェック表のうち、施工管理について指示事項が無い。 <input type="checkbox"/> 施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映したものとなっている。 <input type="checkbox"/> 現場条件の変化に対して、適切に対応している。 <input type="checkbox"/> 工事材料の品質に影響が無いよう保管している。 <input type="checkbox"/> 日常の出来形管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。 <input type="checkbox"/> 日常の品質管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。 <input type="checkbox"/> 現場内の整理整頓を日常的に行っている。 <input type="checkbox"/> 使用材料の品質証明書及び写真等を整理している。 <input type="checkbox"/> 工事打合せ簿を、不足無く整理している。 <input type="checkbox"/> 建設副産物の再利用等への取り組みを適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 工事全般において、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。 <input type="checkbox"/> その他 (理由:)			<input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 該当すれば……d <input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 該当すれば……e	
		該当項目が 90% 以上…………… a 該当項目が 80% 以上 90% 未満…………… b 該当項目が 80% 未満…………… c	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値() = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。			
	② 工程管理	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
	建築工事	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェック表のうち、工程管理について指示事項が無い。 <input type="checkbox"/> 工程に与える要因を的確に把握し、それらを反映した工程表を作成している。 <input type="checkbox"/> 実施工程表の作成及びフォローアップを行っており、適切に工程を管理している。 <input type="checkbox"/> 現場条件の変化への対応が迅速であり、施工の停滞が見られない。 <input type="checkbox"/> 時間制限や片側交互通行等の各種制約への対応が適切であり、大きな工程の遅れが無い。 <input type="checkbox"/> 工事の進捗を早めるための取り組みを行っている。 <input type="checkbox"/> 適切な工程管理を行い、工程の遅れが無い。 <input type="checkbox"/> 休日の確保を行っている。 <input type="checkbox"/> 計画工程以外の時間外作業がほとんど無い。 <input type="checkbox"/> その他 (理由:)			<input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 該当すれば……d <input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。	
		該当項目が 90% 以上…………… a 該当項目が 80% 以上 90% 未満…………… b 該当項目が 80% 未満…………… c	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値() = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。			

工事成績評定の考査項目別運用表(建築工事)

[記入方法] 該当する項目の□に レマークを記入する

[主任監督員]

考査項目	細別	a	b	c	d	e
		適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
2 施工状況	③ 安全対策	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェック表のうち、安全対策について指示事項が無い。 <input type="checkbox"/> 災害防止協議会等を1回/月以上行っている。 <input type="checkbox"/> 安全教育及び安全訓練等を実施している。 <input type="checkbox"/> 新規入場者教育の内容に、当該工事の現場特性を反映している。 <input type="checkbox"/> 工事期間を通じて、労働災害及び公衆災害が発生しなかった。 <input type="checkbox"/> 過積載防止に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 仮設工の点検及び管理を、チェックリスト等を用いて実施している。 <input type="checkbox"/> 保安施設の設置及び管理を、各種基準及び関係者間の協議に基づき実施している。 <input type="checkbox"/> 地下埋設物及び架空線等に関する事故防止対策に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> その他 (理由:)				<input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 該当すれば……d <input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。
	建築工事	該当項目が 90% 以上…………… a 該当項目が 80% 以上90% 未満…………… b 該当項目が 80% 未満…………… c	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値() = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。			
	④ 対外関係	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェック表のうち、対外関係について指示事項が無い。 <input type="checkbox"/> 関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生が無い。 <input type="checkbox"/> 地元との調整を行い、トラブルの発生が無い。 <input type="checkbox"/> 第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。 <input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。 <input type="checkbox"/> 歩行者・通行車両を優先させて施工し、児童の通学や家屋への出入りに特段の配慮をしている。 <input type="checkbox"/> その他 (理由:)				<input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 該当すれば……d <input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 該当すれば……e
	建築工事	該当項目が 90% 以上…………… a 該当項目が 80% 以上90% 未満…………… b 該当項目が 80% 未満…………… c	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値() = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。			

工事成績評定の考査項目別運用表(建築工事)

[記入方法] 該当する項目の□に レマークを記入する

[主任監督員]

考査項目	細別	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	① 出来形 建築工事	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 出来形の形状、寸法が設計値（設計図書）を満足している。 <input type="checkbox"/> 出来形の性能、機能が設計値（設計図書）を満足している。 <input type="checkbox"/> 承諾図等が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工図等が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 出来形測定において、不可視部分を含め出来形が写真、施工記録等での確に確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工計画書に写真管理基準を設定し、適切に管理し、それが書類等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 自社の管理基準を設定し、出来形管理記録が整備され、それが書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場における出来形が良好で、施工の精度が高い <input type="checkbox"/> 出来形の管理方法が、工夫されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、適切な処分をしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由：				<input type="checkbox"/> 出来形の形状又は機能が設計値を満たしていないため、監督員が文書で指示を行い改善された。 該当すれば……d <input type="checkbox"/> 出来形の形状又は機能が設計値を満たしていないため、検査員が修補指示を行った。 該当すれば……e
		該当項目が 90% 以上…………… a 該当項目が 80% 以上90% 未満…………… b 該当項目が 80% 未満…………… c	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値() = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。			

工事成績評定の考査項目別運用表(建築工事)

[記入方法] 該当する項目の□に レマークを記入する

[主任監督員]

考査項目	細別	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	② 品質 建築工事(新築)	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
		<p>[評価対象項目]</p> <p>【躯体工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 材料の品質証明が適切である。 <input type="checkbox"/> 施工計画書に定められた品質計画により管理され、それが書類等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工の品質・形状が適切で良好な施工である。 <input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録等により確認できる。 <input type="checkbox"/> 品質確認記録書を作成する等、品質管理方法が明確で、適切に管理し、それが書類等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 自社の品質計画による品質管理記録が整備されている。 <p>【仕上工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 材料の品質証明が適切である。 <input type="checkbox"/> 施工計画書に定められた品質計画により管理され、それが書類等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工の品質・形状が適切で良好な施工である。 <input type="checkbox"/> 品質確認記録書を作成する等、品質管理方法が明確で、適切に管理し、それが書類等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 自社の品質計画による品質管理記録が整備されている。 <p>該当項目が 90% 以上…………… a ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。 該当項目が 80% 以上90% 未満…………… b ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 該当項目が 80% 未満…………… c ③ 評価値() = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>				<input type="checkbox"/> 施工の品質及び形状が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 該当すれば……d <input type="checkbox"/> 施工の品質及び形状が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。 該当すれば……e

工事成績評定の考査項目別運用表(建築工事)

[記入方法] 該当する項目の□に レマークを記入する

[主任監督員]

考査項目	細別	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	② 品質 建築工事(改修)	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
		<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 現地状況を把握し、施工方法等について提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料の品質証明が適切である。 <input type="checkbox"/> 施工計画書に定められた品質計画により管理され、それが書類等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工の品質・形状が適切で良好な施工である。 <input type="checkbox"/> 性能及び機能に関する確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工の各段階における確認及び記録の方法が、適切である。 <input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録等により確認できる。 <input type="checkbox"/> 品質確認記録書を作成する等、品質管理方法が明確で、適切に管理し、それが書類等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 自社の品質計画による品質管理記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 完了時の確認及び記録の方法が、適切である。 <p>該当項目が 90% 以上…………… a ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。 該当項目が 80% 以上90% 未満…………… b ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 該当項目が 80% 未満…………… c ③ 評価値() = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>				<input type="checkbox"/> 施工の品質及び形状が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 該当すれば……d <input type="checkbox"/> 施工の品質及び形状が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。 該当すれば……e

工事成績評定の考査項目別運用表(建築工事)

[記入方法] 該当する項目の□に レマークを記入する

[主任監督員]

考査項目	細別	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	② 品質 電気設備工事(新築・改修)	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
		[評価対象項目] 【機 材】 <input type="checkbox"/> 製作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 機材の品質及び形状が、設計図書等に適合する証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 製造者による試験が的確に行われ、設計図書等に適合する証明書が整備されている。 【施 工】 <input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工の完了時の試験及び記録が適切であり、それが書類等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 機能の適切性が確認でき、試運転等の記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 施工計画書に定められた品質計画により管理され、それが書類等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 受注者の品質計画による品質管理記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 施工の品質及び形状が適切で良好な施工である。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の写真記録が適切である。 該当項目が 90% 以上…………… a 該当項目が 80% 以上90% 未満…………… b 該当項目が 80% 未満…………… c				<input type="checkbox"/> 施工の品質及び形状が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 施工の品質及び形状が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。 該当すれば……e
		① 当該「評定対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値() = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。				

工事成績評定の考査項目別運用表(建築工事)

[記入方法] 該当する項目の□に レマークを記入する

[主任監督員]

考査項目	細別	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	② 品質 機械設備工事(新築・改修)	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
		[評価対象項目] 【機 材】 <input type="checkbox"/> 製作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 機材の品質及び形状が、設計図書等に適合する証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 製造者による試験が的確に行われ、設計図書等に適合する証明書が整備されている。 【施 工】 <input type="checkbox"/> 小配管、電気配線、配管が承諾図書のとおり敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工の完了時の試験及び記録が適切であり、それが書類等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 機能の適切性が確認でき、試運転等の記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 施工計画書に定められた品質計画により管理され、それが書類等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 受注者の品質計画による品質管理記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 施工の品質及び形状が適切で良好な施工である。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の写真記録が適切である。 該当項目が 90% 以上…………… a 該当項目が 80% 以上90% 未満…………… b 該当項目が 80% 未満…………… c				<input type="checkbox"/> 施工の品質及び形状が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 該当すれば……e <input type="checkbox"/> 施工の品質及び形状が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。 該当すれば……e
		① 当該「評定対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値() = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。				

工事成績評定の審査項目別運用表(建築工事)

[記入方法] 該当する項目の□に レマークを記入する

[主任監督員]

審査項目	細別	工 夫 事 項	
5 創意工夫	① 創意工夫	<p>■準備・後片づけ関係</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 測量・位置出しにおける工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 現地調査方法の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 3. その他 (理由: _____)</p> <p>■施工関係</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 施工に伴う器具・工具・装置類の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 工場加工製品等を活用し副産物及び廃棄物の減少に工夫及びリサイクルに対する積極的な取組</p> <p><input type="checkbox"/> 6. 土工事, 地業工事, 鉄骨建て方, コンクリート工事等の施工関係の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 7. 部材・機材等の運搬・搬入等を含む施工方法に工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 8. 電気工事等の配線, 配管等での工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 9. 給排水・衛生設備工事等の配管・ポンプ類の凍結防止策, つなぎ等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 10. 照明・視界確保等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 11. 仮排水, 仮道路, 迂回路等の計画施工の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 12. 運搬車両・施工機械等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 13. 支保工, 型枠工, 足場工及び仮橋, 覆工板, 山留め等の仮設工関係の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 14. 施工管理及び品質向上等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 15. プレハブ工法等を採用し, 工期短縮等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 16. 改修工事における仮設施工の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 17. その他 (理由: _____)</p> <p>■品質関係</p> <p><input type="checkbox"/> 18. 集計ソフト等の活用と工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 19. 躯体工事の品質管理の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 20. 材料の検査試験に関する工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 21. 施工の検査試験に関する工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 22. 品質記録方法の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 23. その他 (理由: _____)</p> <p>■安全衛生関係</p> <p><input type="checkbox"/> 24. 安全仮設備等の工夫(落下物, 墜落, 転落, 挟まれ, 看板, 立入禁止, 手摺, 足場等)</p> <p><input type="checkbox"/> 25. 安全教育, 技術向上講習会等, 教育・ミーティング, 安全パトロール等に関する工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 26. 現場事務所, 労務者宿舎等の居住空間及び設備等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 27. 酸欠対策・有毒ガス・可燃ガスの処理及び粉塵防止策や作業中の換気等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 28. 供用中の道路等の事故防止及び一般交通確保等のための工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 29. 苦渋作業等の作業環境低減等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 30. ゴミの減量化, アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 31. その他 (理由: _____)</p> <p>■施工監理関係</p> <p><input type="checkbox"/> 32. 出来形管理に関する工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 33. 施工計画書及び写真管理等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 34. 出来形, 品質との計測関係等の工夫及び集計, 管理図等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 35. CAD, 施工管理ソフト, 度量管理システム等の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 36. その他 (理由: _____)</p>	

工事成績評定の審査項目別運用表(建築工事)

[記入方法] 該当する項目の□に レマークを記入する

[主任監督員]

審査項目	細別	工 夫 事 項	
		<p><input type="checkbox"/> 37. (該当技術数:) NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果が相当程度確認できた。 ※本項目は3点の加点とする。</p> <p><input type="checkbox"/> 38. (該当技術数:) NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果が一定程度確認できた。 ※本項目は2点の加点とする。</p> <p><input type="checkbox"/> 39. (該当技術数:) NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果が従来技術と同程度である。 ※本項目は1点の加点とする。</p> <p><input type="checkbox"/> 40. (該当技術数:) NETIS登録技術のうち、事後評価実施済み技術(「有用とされる技術」を除く)を活用し、活用の効果が相当程度確認できた。 ※本項目は2点の加点とする。</p> <p><input type="checkbox"/> 41. (該当技術数:) NETIS登録技術のうち、事後評価実施済み技術(「有用とされる技術」を除く)を活用し、活用の効果が一定程度確認できた。 ※本項目は1点の加点とする。</p> <p>■その他</p> <p><input type="checkbox"/> 42 その他 (理由: _____)</p> <p><input type="checkbox"/> 43 その他 (理由: _____)</p>	
	<p>記述評価 (レマークを付したキーワード項目について評価内容を詳細記述)</p>	<p>評点: _____ 点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。 ・加点は+7点~0点の範囲とする。 ・該当キーワード数の数と重みを勘案して評点する。 ・1項目1点を目安とするが、内によってはそれ以上の点数を与えても良い。 	<p>【創意工夫の詳細評価】 工夫の内容及び具体的内容を記載</p>

※1. 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。

※2. 評価は各項目において1つレ点が付されれば1点~3点で評価し、該当する数と重みを勘案して、最大7点の加点評価とする。

※3. 上記の審査項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体的内容を記載して加点する。なお、検査員が評価する「工事特性」との二重評価は行わない。